

# 穀雨

こくう

春季の最後の節気。

霧のように、細かい春の雨が降る頃。

田畑に降り注ぎ植物たちを潤し、種まきの良い時期をむかえます。

この時期に降る雨は、百穀を潤し芽を出させる春雨として、「百穀春雨」とも言われています。

二十四節気から知る季節のこと

畑で感じる自然が楽しくなります\*



今年はずいぶん暖かくなまのが早く、  
桜も散るのが早かったが、たがず、  
その分、生い茂る新緑が  
今イキイキとしています。  
山々の新緑は負けません、  
お花たちも青々としています。

5月を迎え、太陽の陽射しが強くなってきました。  
来月頃には梅雨、明ければあつという間に夏の到来。  
日焼けし始めている農人たちもちらほら。

# ことわざだより

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

NO.168

2021年5月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP  
4A

# 春葱

## 今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

## 冬を越え、春の坊主や病気を乗り越えた春葱たちのお届け

京都市内で11~12月頃に定植したねぎたちをお届けします。

ねぎ坊主が出やすい季節を見込み、「春あんじょう」という、ねぎ坊主が上がりにくい品種を植えていました。春先から暖かくなるのに合わせて追肥を行い、坊主抑制と色出しを行いました。

また、病気もやってくる時期であり、5月に入る直前に「べと病」が蔓延。これまで大事に育ててきたねぎが収穫できなくなる事もあります。ですが、その中でも「少しでも収穫しよう!」と圃場で選別収穫と調整を慎重に行い、良い葱をお届けしています。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業!の現場の「こと」を発信

## 丹後農場、定植スタート!

4月から開拓スタートした丹後農場! 亀岡から、実習生を連れて応援に入って皆で定植を行いました。この春に植えた苗が育ち、収穫できるのが6月下旬~7月初旬頃になります。今から収穫できるのが楽しみでなりません!



丹後の方は、とにかく1圃場の畑がひろーい!!!!

雲ひとつない春の青空が気持ちいい丹後。これから広がるねぎ畑を思い浮かべながらせせと苗を植えていきます!



## フレッシュな新人農人たち!

4月入社した新入社員が3名! まずは「ねぎに触れる!」ということで、毎日収穫班に入って体力づくりにも励んでいます。京都での夏の収穫は本当に大変で、ベテラン農人たちもへとへとになります。

この仕事を続けられるかも、1年目をどう乗り切るにかかってくる...! 夏とこれからのに向けて、3人が切磋琢磨していけるように一緒に頑張ります!

